

Plerixafor が末梢血 CD34 陽性細胞数と末梢血幹細胞採取効率の相関 に与える影響に関する研究

1. 研究の対象

2017 年 4 月～2023 年 8 月に当院で末梢血幹細胞採取を受けられた方

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2024 年 3 月 31 日

研究目的: 末梢血幹細胞採取 (PBSCH) 当日の末梢血 CD34 陽性細胞数 (PB CD34+) と採取産物の CD34 陽性細胞数 (PBSC CD34+) の相関は多数報告されていますが、近年広く使用されるようになった plerixafor 投与時の相関については報告が多くありません。Plerixafor は PBSCH 実施の 9～12 時間前に投与することで、PBSCH 実施時に PB CD34+ が最も多く動員されることが知られていますが、plerixafor が PBSCH 当日早朝の PB CD34+ と PBSC CD34+ の相関に与える影響について検証することを目的としました。

研究方法: 当院では PBSCH 当日早朝の PB CD34+ 及び PBSC CD34+ を Flow Cytometry 法で測定しており、2017 年 4 月～2023 年 8 月に PBSCH を受けられた方のデータを後方視的に解析します。ただし、PBSC CD34+ は PBSCH 実施例の体重で除し、処理量が 200mL/kg となるように補正します。PBSC CD34+ 2.0×10^6 /kg 以上を採取閾値とした PB CD34+ の目標値を決定するために ROC 曲線を作成します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、年齢、性別、身長、体重、抗がん剤治療の治療歴、採血結果、G-CSF 製剤の使用歴、plerixafor の使用歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 血液内科 寺川拓弥、多田雄真

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究責任者: 血液内科 寺川 拓弥

-----以上